

2013年7月1日

各 位

オリックス株式会社

Coöperatieve Centrale Raiffeisen-Boerenleenbank B.A.

Robeco Groep N.V.

オリックスがロベコグループの買収を完了

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：井上 亮）、Coöperatieve Centrale Raiffeisen-Boerenleenbank B.A.（本社：オランダ・ユトレヒト、執行役員会会長：Piet Moerland、以下「ラボバンク」）、Robeco Groep N.V.（本社：オランダ・ロッテルダム、CEO：Roderick Munsters、以下「ロベコ」）は、2013年2月19日付プレスリリース「オリックスがロベコグループを買収」^(※1)でお知らせしましたとおり、各国当局等の承認手続きを経て、本日、オリックスがラボバンクの保有するロベコ株式の約90.01%を取得し^(※2)、ロベコを買収しましたのでお知らせします。

株式の取得価額総額は、ロベコの直近の財務状況に応じて調整された結果、19億3,774万ユーロ（約2,507億円）となりました。

良好な運用実績および高い経営力と専門性を有するロベコは、オリックスがグローバルに資産運用事業を展開していく上で戦略的に重要な会社です。オリックスは、ロベコが強固な事業基盤を有する欧米に加え、オリックスが長年にわたりネットワークを築き、かつ年金資産運用マーケットの拡大が期待されるアジア・中東地域において、資産運用事業の拡大を図ります。

オリックスは、顧客に対して付加価値を提供するというロベコの経営方針に基づく事業戦略、顧客サービス、投資プロセスや組織体制などを維持します。また、オリックスの経営管理の下、Roderick Munstersが引き続きCEOを務め、現行の経営体制を維持します。なお、ロベコがオランダ国内で展開している銀行関連業務のうち顧客対応以外の業務は、2013年6月21日付でラボバンクに移管されています。

ロベコのSupervisory Board（監督委員会）には、監督官庁の承認手続きを経て、オリックスから宮内 義彦（グループCEO）および井上 亮（グループCOO）が就任し、ラボバンクから派遣されているメンバーや独立性を有するメンバーとともにガバナンスの強化を図ります。

オリックスとラボバンクは、共同でロベコの企業価値向上を図っていくとともに、戦略パートナーとして新たな事業分野での共同展開を検討してまいります。

(※1) オリックスプレスリリース (2013年2月19日付) : http://www.orix.co.jp/grp/pdf/news/130219_ORIXJ1.pdf

(※2) 株式取得価額総額のうち、2013年2月19日付プレスリリース記載のオリックスの自己株式処分に対応する1億5,000万ユーロ（約194億円）については支払いを完了していません。オリックスは、詳細が確定次第、速やかに開示します。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

グループ広報部 渋谷・堀井 TEL : 03-3435-3167